

vol. 04

令和6年度 第4号  
(年間4回発行 通巻第174号)

# 組合活性化情報 中央会とくしま

特集

四国の元気な組合を紹介します！

徳島県中小企業団体中央会 <https://www.tkc.or.jp>



# 組合活性化情報 中央会とくしま

vol. **04**  
令和6年度 第4号  
(年間4回発行 通巻第174号)

## 特集

四国の元気な組合を紹介します！  
～令和6年度組合資料収集加工事業から～

2



株式会社小川生薬

8



富士製紙企業組合

11



## 会員ホットニュース

12

- ◎赤帽徳島県軽自動車運送協同組合  
・「ふるさとカーニバル～阿波の狸まつり～」に出展！
- ◎徳島県中古自動車販売商工組合青年部  
・JU 徳島チャリティボウリング大会を開催



## 情報連絡員レポート

13

令和6年12月の景気動向



## 青年部コーナー

14

- ◎青年部活動トピックス  
徳島県中小企業青年中央会  
・令和6年度徳島県組合青年部リーダー交流会 他



## 女性部コーナー

15

- ◎女性部活動トピックス  
とくしまレディース中央会  
・高知県視察及び高知ものづくりLABOとの懇談会



## 中央会トピックス

16

- ◎「BCP(事業継続計画) トップセミナー in 徳島」開催
- ◎「組合の決算・税務手続講習会」を開催

中央会事務局職員

十人十色

17

- ◎連携推進課 主事 清水 悠聖



## お知らせコーナー

18

- ◎中小企業省力化投資補助金のポイント
- ◎県税の電子納税をしてみよう！

編集  
後記



## 表紙絵

作者：徳島県中小企業団体中央会顧問 布川 嘉樹氏

タイトル：「藍場浜公園の桜並木」

徳島市の中心を流れる新町川は、藩政時代から物産品を出荷する手段として大きな役割を担ってきました。藍場浜の両岸には白壁作りの倉庫が軒を連ねて、終日荷の積み下ろしでにぎわっていました。その後汽船の発達で港が河口に下って中洲港に移りました。近年藍場浜の両岸は遊歩道や水際公園が整備されお花見も楽しみ、家族連れやカップルに人気のスポットになっています。





# 特集

## 四国の元気な組合を紹介します！ ～令和6年度組合資料収集加工事業から～

昭和57年度から全国中央会と都道府県中央会が連携し、環境変化に対応した共同事業などに先進的に取り組んでいる組合の諸事例を収集して、その活動や共同事業の手法などを他組合へ移転することを目的に、組合資料収集加工事業を実施しています。

令和6年度の収集テーマは、「特徴ある組合事例」「支援機関と連携して組合活動が活性化事例」「販路開拓に取り組んだ事例」の4つを取り上げ、専門家の協力を得ながら詳細な調査・分析を行いました。本誌では、これらのテーマに取り組んでいる四国の先進組合事例の抄録を紹介いたします。

### 特徴ある組合事例

#### 徳島市指定上下水道工事店協同組合（徳島県）

■住 所 徳島県徳島市南末広町1番13号  
■設 立 昭和32年1月  
■出 資 金 16,074千円

■電 話 088-625-7510  
■組合員数 47人  
■主な業種 管工事業

#### キャッチ フレーズ

災害時における  
協力体制の構築  
に向けて

#### 事業・活動実現の キーファクター

委員会で防災に関することを提案し、通常  
総会や理事会で慎重に協議して取り決めて  
きたことが成果に繋がったと、確信している。

## 1. 背景・目的

水道は、健康で文化的な生活を営むうえで欠くことのできない重要なライフラインである。社会的・経済的な諸活動を支える基幹施設として重要な役割を果たしているため、地震などの大規模災害や水質汚染事故等による水道施設の被害が発生した際、日常生活に大きな影響を及ぼすことになる。このため当組合では、被災地へ応急給水や応急復旧等の支援を行うことを目的とした災害時における協力体制の構築に向けて、地方公共団体や他組合と協定を締結するなど、積極的な活動を実施してきた。

## 2. 取組みの手法と内容

当組合は、地震などの大規模災害や水質汚染事故等で水道施設の被害が発生した際の復旧作業を行うことを目的として、平成8年8月に全国に先駆けて徳島市上下水道局との間で「災害時における水道の応急復旧に関する協定書」を締結した。以来、迅速に対応できるよう定期的に防災訓練等を実施するなど、積極的に活動している。平成28年4月の熊本地震や令和6年1月の能登半島地震では、徳島市上下水道局との災害協定に基づき、被災地の1日も早い水道施設の復旧に向けて全力で支援した。

また、徳島県内で大規模災害が発生した場合にも対応できるよう平成17年12月に当組合を含む県内の水道工事組合で徳島県災害支援水道工事組合を結成し「災害相互応援協定」を締結。さらに当組合は四国の県庁所在地の水道工事組合で組織する四市管工事組合連絡協議会にも所属しており、平成27年10月に「災害相互応援協定」を締結した。これらの協定は地震などの大規模災害で水道施設に被害

があった際、復旧作業が迅速に行えるよう各組合の協力体制を築くことを目的としている。被災地組合から要請を受けたら速やかに被害の状況や地域等を考慮し、協定に基づいて応援要員を編成し、必要な資材・機械・器具等を準備し、応急活動にあたる。さらに要請があれば躊躇なく受け入れられる関係を築くために毎年意見交換会の場を設け、災害時における具体的な支援内容や手順・各役割・協力体制の整備等に向けた取組みについて議論するなど、活発に活動している。

### 3. 成果とその要因

地震などの大規模災害で水道施設に被害が出た際、復旧作業が迅速に行えるよう県内の水道工事組合や四国県庁所在地の水道工事組合との災害時における協力体制を構築したことの成果は大きい。また日頃の備えを重要視し、通信訓練の実施や防災訓練への共同参加・学習会の開催・資機材の備蓄など積極的に取り組んでいることから、波及効果にも期待できる。



災害相互応援協定の締結



防災訓練の様子



能登半島地震の現地支援に向けた出発式

## 今治タオル工業組合（愛媛県）

■住 所 愛媛県今治市東門町5丁目14-3  
■設 立 昭和27年11月  
■出 資 金 100,292千円

■電 話 0898-32-7000  
■組合員数 79社  
■主な業種 タオル製造業

キャッチ  
フレーズ

デジタル空間を活用したアートギャラリーの開設

事業・活動実現の  
キーファクター

デジタル空間の活用や海外アーティストの起用などがターゲットマーケティングに基づいたプロモーションとなったことが、成功の要因である。

### 1. 背景・目的

今治タオルプロジェクト開始から15年以上が経過した現在、“第2フェーズ”としてマスターブランド「今治タオル」をベースにしたメーカーブランドの認知度向上・育成に取り組んでおり、国内外のユーザーへ向け認知度アップとファン獲得を達成できるデジタル施策を検討していた。

この度、デジタル技術・生成AIを活用した新たなアプローチとしてデジタル空間で「今治タオルデジタルアートギャラリー」を、タオルの日として知られる令和6年5月25日に開設した。

### 2. 取組みの手法と内容

今治タオルブランドの国内認知度は90%程度と高止まりを見せており、これから新規ユーザーとな

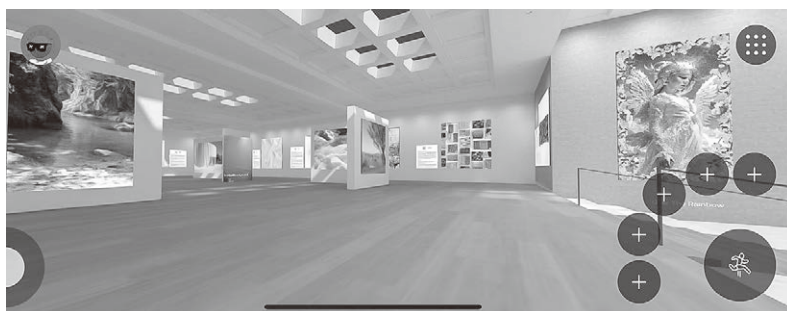
りうる若年層や海外ユーザーを主なターゲットとして認知度アップやファン獲得を、組合内に設置されているプロモーションワーキンググループにて検討しているなか、組合がSNS運用代行を依頼していたMA3world(株)からの新たなデジタル施策として提案を受けたことから始まった。

本ギャラリー制作には、世界的著名ブランドのデジタル展開に携わるアーティストも参画し『今治タオルの本質』で「安心・安全・高品質」という今治タオルの本質的価値を伝えるほか、『今治タオル×デジタル』ではタオルメーカー13社による各社のオリジナリティを活かしたタオル展示で今治産地のものづくり精神を紹介、加えて『今治タオルデジタルアート』では国内外のアーティストが“タオル”“今治”をコンセプトにしたデジタルアートを創作し、約6か月の期間をかけて開発・ローンチを行った。公開から数か月ながらメディア露出なども功を奏して、一定の認知を得つつある。また当初の目標である若者層や海外の新規ユーザー獲得についても、今治タオル公式Instagramのフォロワー数増加や個社展示している企業とのコラボ依頼の問合せなど、反響を得ている。

今後はユーザーを惹きつけるようなコンテンツを充実させるとともに、国内外でのリアルイベントで集客につなげていく方針である。

### 3. 成果とその要因

デジタル空間の活用や海外アーティストの起用など、ターゲットマーケティングに基づいたプロモーションとなったことが成功の要因である。また、先進的な取り組みゆえに一部懐疑的な組合員も当初はいたが、公開後の反応などを見て前向きな姿勢に変わりつつあることも踏まえると、組合事業としても成功を納めた事例だといえる。



デジタルアートギャラリーの様子

## 支援機関と連携して組合活動が活性化した事例

### 協同組合一宮グループ（愛媛県）

■住 所 愛媛県新居浜市西原町2丁目4番34号  
■設 立 昭和51年10月  
■出 資 金 18,000千円

■電 話 0897-34-3933  
■組合員数 15社  
■主な業種 建設業、製造業、運送業 等

キャッチ  
フレーズ

事業継続力強  
化計画による  
「一宮グルー  
プ」の強靱化

事業・活動実現の  
キーファクター

当組合が率先して申請・認定を受けることで模範を示し、各社に対して計画策定・申請支援を行ったこと。愛媛県中小企業団体中央会の手厚い支援も大きな役割を果たした。

### 1. 背景・目的

当組合は、昭和51年に設立された愛媛県新居浜市に拠点を置く「一宮グループ」をまとめる協同組



合である。

一宮グループは建設ブロック・化学ブロック・物流ブロックの3部門、計22社からなる企業グループである。

近年では自然災害が頻発するなか、課題としてグループ全体での危機対応マニュアルの不在があった。当該事業では災害時や緊急事態における迅速な連携と早期復旧を目指し、グループ企業各社で事業継続力強化計画の策定を進めた。

## 2. 取組みの手法と内容

当組合を含む国内のグループ企業16社に向けて、愛媛県中小企業団体中央会の協力のもと事業継続力強化計画の策定支援講習会を開催した。

事業継続力強化計画の類型は1社が作成する「単独型」と複数の企業が連携して作成する「連携型」がある。当該事業は両方の類型を取得する取組みであるため、講習会は単独型を全16社に対して3回ずつ、連携型を各ブロック（建設・化学・物流）に対して2回ずつ実施した。国内のグループ企業すべてが事業継続力強化計画の策定および経済産業大臣の認定を受けることを目標として、各社それぞれ事業継続力強化計画の策定と申請を進めた。

当組合の役割は目標達成に向けた「講習会の日程調整」「計画策定・申請の進捗管理」「各社の申請支援」であり、自らも事業継続力強化計画の策定を行うこととした。



認定を受けたことをホームページで周知

## 3. 成果とその要因

当該事業により、「一宮グループ」の国内対象企業全てが事業継続力強化計画（単独型・連携型）の策定および経済産業大臣の認定を受けることができた。事業継続力強化計画の策定を通じて各社の防災意識も高まり、災害時や緊急事態における迅速な対応が可能となった。

## 販路開拓に取り組んだ事例

### 日本手袋工業組合（香川県）

■住 所 香川県東かがわ市湊1810-1  
■設 立 昭和37年12月  
■出 資 金 42,876千円

■電 話 0879-25-3208  
■組合員数 59人  
■主な業種 手袋製造業

キャッチ  
フレーズ

産地知名度アップ  
のためにアウト  
レットショッ  
プを追加開設

事業・活動実現の  
キーファクター

本取組みは「助成金を活用して、いかに有効なPRを行うか」がポイントであり、実行者の創意工夫、判断能力がきちんと機能しているかどうかのキーファクターとなる。

## 1. 背景・目的

組合事務局のある東かがわ市は、136年あまりの歴史を持つ手袋産業において日本で唯一の産地であり、平成20（2008）年に伝統的な手袋及び手袋製造技術の保存と継承活動のため「香川のてぶくろ

資料館」を開館し、さらに「香川のてぶくろアウトレット店」を開設している。

アウトレット店での販売は順調に推移してきたが、手袋の産地としての知名度は全国的にみて未だ高いとはいいがたく、知名度をアップさせる方策を考える必要があった。そこで、まずは県都・高松市内に期間限定でアウトレットショップを出店し、より多くの消費者にアピールするとともに積極的に消費者の反応を探ることにした。

## 2. 取組みの手法と内容

令和元（2019）年に、組合にて高松市へのアウトレットショップの開設を決議、その後事務局長においてショップ運営の委託業者の選定・会場の確保・組合員への商品出品の呼び掛け・PRなどの諸準備を行った。令和2（2020）年より毎年歳末時期にアウトレットショップを開設し、販促活動を行っている。各期間終了後、機材等を撤収し、消費者の反応などをまとめたうえで翌年に備える。

実働の主体は事務局長であり、良くも悪くも事務局長の創意工夫と判断能力に成否の多くがかかっているが、現在の事務局長はそれによく応えてくれている。例えば「讃岐おもちゃ美術館」にて、店舗開設と同時に子供連れのお客様の来店が増えることが想定されるため、東かがわ市のご当地ヒーロー「てぶくろマン」を会場に登場させじゃんけん大会を行い、好評を博した。

令和5（2023）年の開設時あたりより、組合員においては翌年の店舗開設時期に合わせて新作を作成し出品を行い、この評価についてフィードバックすることで次の新作作成の方向性、及び価格設定の是非を探るという機運が整いつつある。



「てぶくろマン」とのじゃんけん大会

## 3. 成果とその要因

産地の知名度アップに向けた取組みの域をまだ出していないが、組合員への一般消費者意見のフィードバックをきめ細かく行うなどを通じて、消費者・生産者の垣根をさらに低くし機動的な商品開発体制を取れるようになることを目指している。

大阪・関西万博では自治体による連携催事「LOCAL JAPAN 展」が開催されるが、東かがわ市は手袋を始めとする伝統工芸品をPRする予定である。この出展に組合は全面的に協力する。



店内の様子

### 企業組合宇佐もん工房（高知県）

■住 所 高知県土佐市宇佐町宇佐3161番地29  
■設 立 平成22年10月  
■出 資 金 11,500千円

■電 話 088-856-1146  
■組合員数 35人  
■主な業種 水産加工品製造業

キャッチ  
フレーズ

地域の誇り・  
発信拠点とし  
て組合をブラ  
ンド化！

事業・活動実現の  
キーファクター

弱い魚のイワシを生食加工してきた技術や『鮮度への拘り』が評価されるとともに、市場ニーズや値ごろ感を拾い続けてきたことによりチャンスをつかむことができた。

## 1. 背景・目的

活動の主軸であった“うるめいわし”の水揚げが激減するなか、加工商品の1つである「漬け丼」に対して『他の魚種でも作ってほしい』との声が多く上がるようになってきた。

そこで、順次バリエーションを増やしシリーズ化することとなり、現在は“うるめいわし”を除いた8種類の魚（サバ・タイ・ブリ・カンパチ・鰹たたき・マグロ・イカ・サーモン）で展開するなど、事業の柱となっている。

## 2. 取組みの手法と内容

“うるめいわし”のブランド化を通じて『宇佐を元気にしたい』と活動を始め、“うるめいわし”の良さを伝えるために鮮度に拘って取り組んできたことで『鮮度に拘る加工を得意とする宇佐もん工房』という組合自身のブランド化へと変化していき、「漬け丼」シリーズの好調にも繋がっている。

また値ごろ感を特に意識しながら、各種展示会や商談会、アンテナショップでもある「宇佐もんや」等でお客様の声を積極的に拾い上げ、「鮮度を活かした加工品」というコンセプトを念頭に当初の主力商品（うるめいわし）には拘らず、環境の変化に適応しながら臨機応変に組織運営を行ってきたことが成功要因であると考えられる。

売り方としてもギフトや宅配、自社のECサイト等を活用することで順調に売上げを大きく伸ばしてきたが、転機となったのは新型コロナウイルスによるライフスタイルの変化であった。

巣籠り需要が拡大し通販などのお取り寄せや食材宅配サービスの利用が急激に増えたことで、もともと宅配向きの商品であった「漬け丼」が、初めて緊急事態宣言が出された時期にはそれまでの3倍以上の売上げを記録した。なお同商品のシリーズは現在も主力商品として好評であり、土佐市のふるさと納税返礼品の取扱量が急激に伸びるなど、本年度も前年度を上回る勢いで順調に推移している。

## 3. 成果とその要因

設立当初主軸となっていた“うるめいわし”の商品は、地域性・ストーリー性などの良さから、どちらかと言うとコアユーザーから愛された商品であり、ギフトとしても自家需要が中心だったが「漬け丼の詰め合わせ」が登場してからは『魚の美味しい高知で作った漬け丼』というイメージの良さから、贈り物としても人気が出てきた。



人気の漬け丼シリーズ



漬け丼盛り合わせ例





## 株式会社小川生薬

中央会では、平成24年度から始まった補正事業「ものづくり補助金」の地域事務局として、ものづくり・商業・サービス分野において独自の事業展開に取り組む事業者を対象に、補助金交付や事業推進支援を行っています。このコーナーでは、本補助金を活用して成果を上げておられる県内中小企業の皆様方を「ものづくりの達人」としてご紹介しています。

第40回目は、令和元年度補正ものづくり事業に取り組まれた今年創業100周年を迎える『株式会社小川生薬』をご紹介します。同社は、生薬の原料や健康食品の製造といった様々なことに取り組まれています。

今回は、代表取締役の小川栄治氏から詳しいお話を伺いました。



### 1 御社の創業は大正末期と伺っていますが、創業当時やその後の経緯についてお聞かせ下さい。

徳島県は、全国有数の生薬（薬用植物）生産県です。私どもの所在は四国のほぼ中心に位置し、吉野川が町の東西を横断し四国山地と讃岐山脈に囲まれた生薬製造業にとっては非常に恵まれた環境にあります。大正末期、初代（祖父の小川貞市）が生活物資を山間の村々に運び、そこで収穫された生薬と引き換えにする、いわゆるバーター方式で和産生薬の集荷を始めました。四国の山々から集められた生薬を初代やその家族の手によって選別し、大阪の道修町をはじめとする生薬問屋へ納入したのが小川生薬の

始まりです。昭和33年、大阪の生薬問屋に勤めておりました二代目（父の小川正美）が帰郷し、集荷された生薬に一次加工を施すため小川生薬刻工場を建て生薬を引き継ぎました。その後、三代目である私が、生薬の知識を生かした健康茶作りに励んでおります。

### 2 薬を扱う際に適用される法律として「薬機法」がありますがそれについてお聞かせください。また、生薬と漢方薬にはどのような違いがあるのでしょうか。

「薬機法」とは厚生労働省が定めている法律で植物や動物などの成分について薬用の効果があるかどうかを定めている法律です。この法律で薬用効果が高いと定められているものは医薬品としてみなされ、扱うには国の許可が必要となります。医薬品のメリットとしてはその薬の効能・効果を謳うことができるという点です。逆に、薬用効果はあるのですが効果が緩やかなので医薬品としてみなされない健康食品があります。健康食品は効能・効果を謳うことができませんが食品として扱われるので国の許可を必要としないのが特徴です。我が社は現在、健康食品に力を入れており、健康茶などを多く製造しています。

生薬と漢方薬の違いについてですが、生薬とは、天然の植物・動物の薬効部位を使った薬の



代表取締役 小川 栄治氏

ことです。1つの生薬が単体で用いられることもあれば、複数の生薬を組み合わせたたり、科学合成薬と組み合わせて使われたりします。組み合わせ加工する場合には、個別の生薬は、薬の「原料」と位置づけられます。一方、漢方薬は、中国伝来の漢方医学に基づいて処方される医薬品を指しますが、多くの場合、複数の生薬を組み合わせて作ります。つまり、生薬は漢方薬を構成する原料です。生薬は、漢方薬の他にも、市販の家庭薬の原料としても広く活用されています。

**3** 令和元年度のものづくり補助金において、御社は『味覚のリセットに効く天然由来の「おいしい出汁のお茶」の製造・販売』で採択されています。これは、高付加価値化した健康茶の製造販売において、素材付着対策で新しい製造ラインを構築し、HALAL、HACCPおよびISO22000の取得も考えている、との取り組みでした。本事業の成果ともものづくり補助金事業の役割、効果についてお聞かせください。

本事業では自動充填装置、三角バッグ包装機、バンドシーラ、金属検出器の導入を行いました。

自動充填装置においては計量をシステム化し、秒単位で具材の投入状況を把握し記録することが可能になりました。

また、三角バッグ包装機の導入で、ボタンひとつで三角バッグ・平バッグの生産切り替えが可能になりました。既存の製造ラインで作った袋型平バッグでは、カップの中で十分に出汁の成分を抽出することが難しい上に、海産物を原



自動充填装置

料にしているので、特有のにおいが設備に付着する可能性がありました。導入した包装機はこれらの課題の解決につながりました。

バンドシーラは溶着に要する加圧と冷却を自動で行うことができます。また、本体がステンレス鋼製のため、管理が容易で異物混入要因の低減にも繋がりました。



バンドシーラ

金属検出器においてはHACCPの認証取得を前提とした躯体構造となっており、来歴のデジタルデータ化によってトレーサビリティを容易にすることができます。



金属検出器

本事業で導入した装置は美味しいお茶の充填からシール・異物検査までの工程における情報処理、製造環境、機械制御および測定計測の分野を自動化でき、新しい商品の一步が踏み出せたと自負しています。

新しい分野への挑戦なので十分な成果はまだ出ていませんが、中小企業の財務リスクから考えるとすぐに結果がでなくても、10、20年先の将来を見据えての挑戦をするにあたって非常に有益な補助金だと思っています。



#### 4 新しい商品を製造するために取り組んでいることは何かありますか。

情報収集のために営業職員が東京に2名、大阪に3名います。その人達に、全国の生協やスーパー、ドラッグストアなどを回ってもらい、情報収集をしてもらっています。現在はインターネットが主流になってきているので自分でもインターネットでどのような商品が流通しているかなどの情報収集を行っています。また、近年では地域の荒地を会社で借り上げ、無農薬の生薬を栽培することで、地域の土地資源を有効活用するとともに、地元の農業振興や雇用創出にも貢献しています。これにより、地域経済の活性化を図るとともに、環境保全にも寄与できると考えています。

#### 5 社員教育において課題や解決方法の見つけ方等その方針をお示しいただけますか。

常日頃から、値段は高くなっても自分の大切な人に飲ますることが出来る安心で安全な健康食品づくりをしていこうと社員には話しています。また、幸せな人生を送る、そのために仕事がある、仕事を頑張っているから幸せに必要なことも理解できることが多々あると思います。仕事を通して幸せになる、を社員教育の第一にしています。

#### 6 御社の今後の事業展開についてお聞かせください。

我が社は、健康食品の製造に力を入れていますが、健康食品を販売する上でネックになるのが効能・効果を謳えないことです。ですが、特定保健食品、いわゆる「トクホ」や機能性表示食品と呼ばれるものは食品でありながら効能・効果を謳うことができるというメリットがあります。しかし、デメリットもあり特定保健食品・機能性表示食品として認証されるにはそれに値する証拠となる資料を国に提出し許可が降りないと特定保健食品・機能性表示食品として扱うことができません。また、機能性表示食品等のできる根拠となる資料を作成するためには、試飲・試食をしてもらいどのような変化があったかなどをまとめなければなりません。これらをすべて行い認証に至るまでには1年ほどの時間がかかります。すでに、我が社で扱っている健康茶・健康食品は100種類以上ありますが、これからもより良い健康食品の製造・研究に励む

ことが使命と考えています。

### 企業の概要

|        |                                |
|--------|--------------------------------|
| ○会社名   | 株式会社小川生薬                       |
| ○代表者   | 代表取締役 小川 栄治                    |
| ○業 種   | 生薬製造業                          |
| ○従業員数  | 35名                            |
| ○設立年月日 | 1925年4月                        |
| ○所在地   | 〒771-2301<br>徳島県三好市三野町清水1399   |
| ○電 話   | 0883-82-3245                   |
| ○F A X | 0883-77-4855                   |
| ○メール   | info@ogawasyouyaku.co.jp       |
| ○U R L | https://www.ogawasyouyaku.net/ |

京都にも出店しておられ、1Fがカフェ、2Fがレストラン、3Fは宿泊施設となっています。興味がある方はぜひ!!



京都小川生薬

ちょっと  
ええもん！

組合産品紹介

⑥

本会会員組合や傘下組合員企業が  
製造・販売している、今“イチ押し”  
の組合産品をご紹介します。

今回のちょっとええもん！組合産品は

アワガミファクトリー  
(富士製紙企業組合) の

## 藍染和紙アートパネル

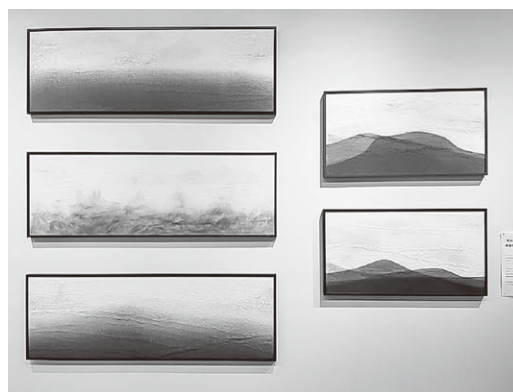
徳島県は藍染料「染（すくも）」づくりの本場として栄え、江戸時代には「藍と言えば阿波」と言われるほどでした。しかし時代の流れとともに阿波藍の生産は衰退してきましたが、近年植物藍の良さが再度見直され、現在に至っています。

アワガミファクトリー（阿波和紙製造業）では、先代の藤森実氏が妻の藤森ツネ氏と共に研究を重ね、時代により忘れられていた藍染和紙を復興しました。現代のニーズに応じた藍染め和紙の開発と品質の安定化のために、様々な試行錯誤を行い、独自のパターンを多く生み出してきました。

現在は藤森家に嫁いだ藤森美恵子氏がその技術を受け継ぎ、藍染師として、より美しく、より時代に求められる意匠を追求し、日々新たな試みに挑戦しています。藤森美恵子氏は、伝統工芸士（国家資格）の称号も取得し、藍染和紙作りの中心を担う染師となっております。

令和7年夏就航予定のクルーズ船「飛鳥Ⅲ」の客室に、藍染師の藤森美恵子氏が手がけた藍染和紙のアートパネルが飾られることが、徳島新聞において大きく取り上げられました。かつて工芸的な存在であった阿波藍染め和紙は、時代と共に習熟し、近年はアーティスティックな素材としても注目され、大きさや意匠性への可能性が高まっております。書道や版画などアート作品に使われるほか、ディスプレイに、また額装してお部屋に飾るなど、伝統的な素材として、そしてインテリア空間においても活躍の場を広げ、存在感のある空間構成を創り上げることが出来ます。

### ●様々な色の濃淡や模様が美しい藍染和紙アート製品



2024藍染和紙展

#### 【商品詳細や購入に関するお問合せ先】

富士製紙企業組合

定休日：土日

〒779-3401 徳島県吉野川市山川町川東 136 番地

TEL：0883-42-2035

E-mail：info@awagami.or.jp





# 会員ホットニュース

## 「ふるさとカーニバル ～阿波の狸まつり～」に出展！ ～赤帽徳島県軽自動車運送協同組合～

赤帽徳島県軽自動車運送協同組合は、11月2日～3日、徳島市藍場浜公園において開催されました「ふるさとカーニバル ～阿波の狸まつり～」に初めて出展されました！

赤帽の出展ブースにおいて、「あかぼうくん」と一緒に子供達はくじ引きを楽しみ、また赤帽加入のご案内のチラシを配布し、赤帽のPR活動を行いました。



赤帽出展ブースとあかぼうくん



赤帽加入のご案内のチラシ

## JU 徳島チャリティボウリング大会を開催 ～徳島県中古自動車販売商工組合青年部～

令和6年12月7日(土)、徳島市のスエヒロボウルにて、徳島県中古自動車販売商工組合青年部主催のチャリティボウリング大会が開催されました。同大会は、お客様、会員、家族間のコミュニケーションを図ることを目的に実施されており、参加費の一部は「徳島県の盲導犬を育てる会」に寄付されています。また、当日は、募金箱を設置し、参加者の皆様より募金協力もしていただいています。

大会は、富澤青年部会長の挨拶、始球式により開始され、2ゲーム終了後に表彰式が行われました。第11回目の開催となる今年度は、どのグループも白熱したスコアが展開され、参加者一同、和やかな雰囲気のもと親睦・交流が深まる楽しい時間となりました。



集合写真



富澤青年部会長による挨拶

令和6年12月

# 情報連絡員レポート(前年同月比)



この報告結果は、徳島県下の中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員49名に委嘱している中小企業団体情報連絡員による報告を抜粋掲載しております。

## 【全体の景況】

今月は、景況、収益状況は好転したとの報告があった一方、原材料料費、エネルギー費、輸送費等の高騰の継続、長期にわたる住宅着工件数の減少等により厳しい状況は続いているとの報告もあり、多くの事業者が収益の確保、価格転嫁に苦慮しているようだ。

## 【製造業】

### ＜食料品＞

【味噌】季節要因もあり前月比では味噌の生産量は134%、出荷量は144.3%と大幅に改善したが、前年同月比では、味噌の生産量は96.7%、出荷量は92.5%と低調だった。原料米の調達価格高止まりに加え運送費等の諸物価高騰により、製造コストの上昇は収益悪化の要因となっている。

【漬物】年末年始に向けての生産が好調だったが、資材の高騰及び人件費の上昇のため、収益状況は悪化している。

### ＜繊維・同製品＞

【縫製】仕入他諸経費の増大が激しいにもかかわらず、売値に反映できない業界に当たるため、ロスや生産性の向上を目指しても追いつかない感が否めない。

### ＜木材・木製品＞

【製材】「原木高製品安」の状況は変わらず、製品は下げ止まり感がある。物価高で実質賃金が上がらず、戸建住宅が建ちにくい状況が木材需要に大きく影響している。

【木材】12月に入り一段と原木価格も上がり、製品が売りづらく製品価格も上がらない中、大変厳しい。

【木材】12月は建材自体が相当な値上がりして、建築会社も見積もりがなかなか難しく、新築が厳しい。

### ＜印刷＞

【印刷】12月は売上高不変、収益悪化となる厳しい月となった。ブラックフライデーの影響でチラシ関係は回復したが、年末を控え景気上向きの気配は感じない。また価格転嫁には比較的理解があった顧客も値上げが続く中で疲弊し、予算削減や仕様変更、作成取りやめ等コストカット関係の案件が増加している。

【印刷】12月は1年の中でも受注量の多い月だったが、ここ数年は期待していた数字をあげられない状況である。年末年始関連の商業チラシは毎年減少し、全盛期の半以下になった企業もあった。

### ＜窯業・土石製品＞

【生コン】12月の出荷量は昨年同月比約23%減少。山間部において民間工事による出荷は見込めず公共工事も年々減少する中、どこまで出荷量が落ち込むのか予想できない状況で出荷量は低迷したままここまで来ている。

【生コン】12月の出荷数量は、対前年同月比3%の増であった。要因としては既契約分での民間及び公共工事(四国横断自動車道工事等)が予定通り進んでいることである。工場での収益については、価格引上げにも関わらず、年間を通じて一時期に比べて大幅な出荷数量の減少という結果により、経営環境は依然として厳しい。

### ＜鉄鋼・金属工業＞

【鉄鋼】業況感は全体的に持ち直しの傾向が見られ、受注量もやや増加傾向を示している。ただし、原材料価格の高騰および人件費等の増加により収益率を圧迫しており、まだ暫くは厳しい経営状況が続くそうである。

【ステンレス】原材料等の仕入れ価格は高止まりの状態であり、今後の燃料費や人件費、物流コスト等の原価上昇の影響も懸念される。

## 【非製造業】

### ＜卸売業＞

【食糧卸】原材料原価がますます高くなっている。従って店頭での精米5kgの平均が3,000円前後から3,500円前後になっていくと思われる。

### ＜小売業＞

【ショッピングセンター】全店舗売上げ合計は100.4%と横這いであるが、衣料を中心に専門店が苦戦している。食品と全国チェーン店が全体の売上げに貢献している。

【電気機器】部品・商品等の仕入れ価格の上昇により、利益が圧迫され、経営上よろしくないで、価格の安定の方向を望む。また家電等に対する補助金があればなお良い。

【量小売業】一般家庭用が12月は多かった。暖かかったからクリスマスくらいまで続いたところもあった。最近では珍しい。今年も廃業が2件あった。

### ＜商店街＞

【鳴門市】京都大学との街づくりワークショップ第3回が終わり、商店街や鳴門駅西側のために有意義な会となった。

【徳島市】なかなか寒くならず、コートなどの動きが悪い。

【徳島市】新しく飲食店が1軒オープンした。12月は忘年会シーズンでもあり、夜間の飲食店は賑わっていた。

### ＜サービス業＞

【自動車整備】12月の自動車販売台数は、新車販売が前年度を下回る結果となった。登録車は対前年度比10%減、軽自動車は8.1%減が全体に影響し、トータルでは6.3%減となった。

【ビル管理】最低賃金改定に伴うオーナーとの価格転嫁交渉が難しい。人材確保も課題である。

【旅行業】法改正後、観光バスの料金が上がり、バス運転手不足で、観光バスの手配が厳しくなっている。大阪万博の仕事は今のところ期待していた様には動きがなく、徳島空港に国際線の飛行機が就航しても、徳島県の中小旅行会社には今のところ変化はない。

### ＜建設業＞

【鉄骨・鉄筋工事業】全体として仕事量が少なく、加工単価も安く、厳しい状況が続いている。

【建設業】公共工事請負額は前年同月比較で0.4%程度減少した。件数はほぼ同じとなっている。請負金額では、国、独立行政法人、市町村の発注工事が減少し、県が増加した。

【板金工事業】工事件数は少ないまま推移している。

【電気工事業】徳島県内12月分の戸建住宅新築件数165件(前年比88.7%)であった。

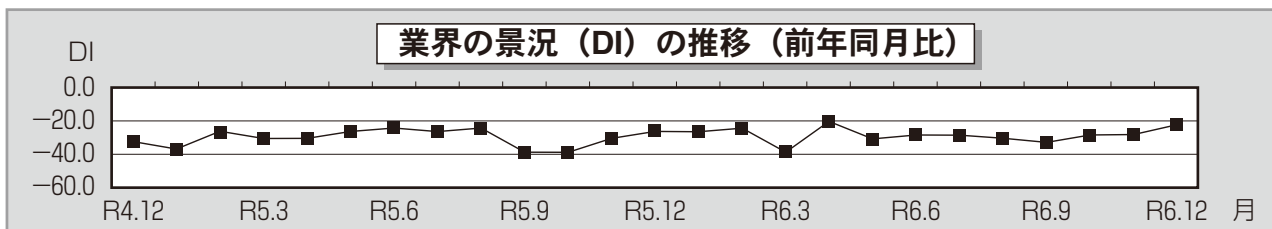
【解体工事業】令和6年4月1日時点、徳島県内23市町村において空き家対策撤去の補助金(空き家制度撤去+新設)が新設された。徳島市において令和6年12月より空き家住宅相談会を実施している。各市町村の撤去解体工事等の見積もり依頼も増えている。

### ＜運輸業＞

【貨物運送業】毎年12月は月初めの荷動きが鈍く、中旬から年末にかけて最大になる。本年12月も例年通りだったが、前年より量は増加した。

【貨物運送業】軽油価格が下がらない中、燃料油価格激変緩和と事業が縮小され厳しさを増している。小規模事業者ほどドライバー確保や価格転嫁が進まず、厳しい状況は続く。

【貨物運送業】今後の燃料費の動向に注視していきたい。



※ DI 値とは、各景況項目について「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値





# 青年部コーナー



## 青年部活動トピックス



### ◇令和6年度徳島県組合青年部リーダー交流会・新年互礼会開催◇

令和7年2月12日(水)、ホテルサンシャイン徳島アネックスに於いて、令和6年度徳島県組合青年部リーダー交流会を開催しました。講師には、(株)紡樹・代表取締役の富浪真樹様をお招きし、「県外流出を防げ！今までの視点と違う人材採用の取り組み」のテーマでご講演いただきました。また、講演後にはご来賓をお招きしての新年互礼会を開催し親睦を深めました。ご参席いただきました皆様ありがとうございました。

#### 【ご来賓紹介】(順不同)

株式会社紡樹 代表取締役  
徳島県経済産業部 部長  
徳島県中小企業団体中央会 会長  
(株)商工組合中央金庫 徳島支店長  
徳島県商工会議所青年部連合会 会長  
徳島県商工会青年部連合会 会長  
とくしまレディース中央会 副会長  
徳島県立徳島商業高等学校 校長

富浪 真樹様  
黄田 隆史様  
布川 徹様  
田戸 茂幸様  
新居 卓哉様  
多田 義夫様  
天野多栄子様  
峯 正哉様

徳島県立中央テクノスクール 校長 今津 恭尚様  
愛媛県中小企業団体中央会青年部協議会 会長 鳴岡 賢悟様  
高知県中小企業青年中央会 会長 安宅 弘明様  
香川県中小企業団体中央会青年部 会長 太田 武志様  
徳島県中小企業青年中央会 歴代会長 梯 学様  
徳島県中小企業青年中央会 歴代会長 田村 茂人様



### ◇徳島県中小企業青年中央会 SNSのご案内◇

青年中央会では、日々の活動の様子をSNSにて情報発信しております。より多くの皆さまに活動を知っていただけるよう更新して参りますので、ぜひ下記QRコードからご覧ください！



facebook



Instagram

### ★今後のスケジュール★

○第5回理事会(令和7年3月下旬)



# 女性部コーナー



## 女性部活動トピックス



### ◇高知県視察及び高知ものづくりLABO との懇談会◇

令和6年12月18日(水)・19日(木)、高知ものづくりLABO会員企業（高知機型工業株式会社）の視察及び高知ものづくりLABOとの研修会・懇談会を高知県にて開催しました。高知ものづくりLABOからは10名、とくしまレディース中央会からは中本会長はじめ10名の参加となりました。

はじめに株式会社リクルート ジョブリサーチセンター センター長 宇佐川邦子氏を講師にお迎えし、「人材確保に必要なこと～多様化、個別化を若者視点で知る～」をテーマにご講演いただき、その後、各県の活動概要について発表・グループワークを実施し、テーマを設けず自由に討論いただき、活発で有意義な時間となりました。



宇佐川氏による研修会



グループワーク

その後の懇親会では、心温まるおもてなしで迎えていただき、会員同士での交流を深め、盛会のうちに終了しました。

また翌日は、香南市にある高知機型工業株式会社を視察させていただきました。SDGSの取り組みに力を入れており、選ばれる企業になるための計画作りのプロセスや具体的な事例が大変参考になり、学ぶことがたくさんありました。

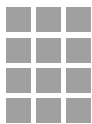


高知機型工業株式会社視察 会社説明



高知機型工業株式会社視察 会社見学





# 中央会トピックス

## 「BCP（事業継続計画）トップセミナー in 徳島」開催

令和7年1月16日(木)、徳島県庁11階講堂において、「BCPトップセミナー in 徳島」を開催いたしました。

平成26年度より「実効性の高いBCPを策定している企業や団体」を認定する「徳島県企業BCP認定制度」が設けられ、これまで28企業・団体が認定を受けており、このたび新たに「株式会社アズマ建設」、「株式会社テレコメディア」、「西精工株式会社」、「東光株式会社」、「株式会社中岸商店」の5社が認定されました。この5社に対する認定証交付式が行われるとともに、「株式会社営建設」代表取締役 鎌田晃輔氏より、「ホマレノBCPとは？」のテーマでご講演いただきました。また、「事継舎」代表 佐藤雅信氏より「儲けるための事業継続活動～強みを将来につなぐために～」のテーマでご講演いただきました。



新規認定企業5社



事継舎 代表 佐藤 雅信氏



株式会社営建設 代表取締役 鎌田 晃輔氏

## 「組合の決算・税務手続講習会」を開催

令和7年2月5日(水)、徳島経済産業会館（徳島市南末広町5-8-8）3階会議室において、令和6年度組合管理者等講習会事業における「組合の決算・税務手続講習会」を開催しました。

講師に、後藤会計事務所の後藤吾郎氏（公認会計士）をお招きし、組合にて会計実務を担当されている役職員の方々を対象に、協同組合等に特有な期末の諸手続きや経理処理・決算関係の注意事項・税制改正などについてご講演いただきました。



組合活性化情報令和元年度第1号から中央会事務局職員が会員の皆様に、より親しんでもらえるよう、プライベートなこと（趣味、特技、熱中している物事、最近気になっている物事など）について綴ってきました。今回は、清水主事です。



## 清水 悠聖 [連携推進課 主事/令和6年4月1日入職]

水瓶座、血液型B型

### ①自己紹介

清水 悠聖（しみず はるひ）と申します。「悠聖」で「はるひ」と読みます。珍しい読み方なので初めから読める人は今まで見たことありません。みんな「ゆうせい」と読みます。父はゆうせいと名付けたかったそうですが、母が3文字の名前が良いという不思議なこだわりがあったそうで当て字ではあるひとなったそうです。この機会に覚えていただけると幸いです。

徳島市で生まれ、高校卒業までずっと徳島で過ごし、高校卒業後、中央会へ入職しました。採用試験では周りが年上の人ばかりで受かる気がしませんでしたが無事採用されました。なぜ採用されたのかはよく分かりません。多分奇跡だと思います。今は連携推進課で情報誌作成等をさせていただいております。これからも頑張っていきますのでよろしくお願いします。

### ②趣味について

熱しやすく冷めやすい性格なので特に決まった趣味は無く、今まで様々なことをしてきました。小学校の頃は父も祖父も叔父もゴルフが好きなので週1ぐらいのペースでゴルフに連れて行ってもらったのをよく覚えています。中学校は卓球部に所属し、3年間卓球ばかりしていました。高校では部活に所属せず、いつも友達とバスケやサッカー、バレーなどをしていました。そのせいなのかバスケ部顧問の数学の先生が授業中にバスケ部だけ発表させる流れになり、なぜか私も発表させられそうになってバスケ部じゃないと言ったのですが結局発表させられました。あれは今でも意味が分かりません。社会人になってからは、初めの頃はダーツにハマっていて、その次はギターにハマりました。現在は、2月から一人暮らしを始めたこともあり料理にハマっています。料理が得意な方、私でもできる料理を教えて頂けると嬉しいです。

### ③最近の出来事

趣味の話題でも触れたのですが、2月から一人暮らしを始めました。佐古に引っ越したのですが周りからは「会社の近くが良かったんじゃない?」と言われ、確かに!と思い、しっかり考えずに引っ越したことを少し後悔しております。でも、いざ引っ越ししてみると遅刻したらどうしようという危機感からか早寝早起きができるようになり結果的によかったのではないかと思います。また、初めての自分だけの家で、まだ家具をそろえている途中なのですが家具を選んだり配置を考えたりするのが最近の楽しみです。上記でも言ったのですが自炊も最近の楽しみの1つで祖父や叔父が飲食店をしていることもあり料理が得意なのでレシピを教えてもらったり自分で調べて作ったりして料理のレパートリーが増えていくのが楽しいです。



初自炊の時の写真

### ④最後に

入職して1年も経っておらず、まだまだ未熟でご迷惑をおかけすることもあると思いますがこれからも精一杯頑張っていきますのでどうぞよろしくお願いします。





# お知らせコーナー



## ～中小企業省力化投資補助金のポイント～

令和7年から、人手不足に悩む中小企業等の省力化投資を後押しする補助金「中小企業省力化投資補助金」が大きく変わります。

### カタログ注文型

随時申請  
受付中

### 一般型

公募回制

#### 補助対象となる事業

中小企業などが省力化製品を対象製品のリスト(カタログ)から選んで導入し、販売事業者と共同で「労働生産性 年平均成長率3%向上」を目指す事業計画に取り組むものが対象です。

中小企業などが省力化効果のあるオーダーメイド・セミオーダーメイド性のある設備やシステムなどを導入し、「労働生産性 年平均成長率4%向上」を目指す事業計画に取り組むものが対象です。

カタログ注文型・一般型それぞれ要件が異なりますので、必ずそれぞれの公募要領をご確認ください。  
カタログ注文型・一般型は、補助対象経費が異なれば併用可能です。

#### 補助率と補助上限額

| 従業員数  | 補助率       | 補助上限額   | 大幅な賃上げを行う場合 |
|-------|-----------|---------|-------------|
| 5名以下  | 1/2<br>以下 | 200万円   | 300万円       |
| 6～20名 |           | 500万円   | 750万円       |
| 21名以上 |           | 1,000万円 | 1,500万円     |

※各申請における補助額の合計が補助上限額に達するまでは、複数回の応募・交付申請が可能です。

#### 補助上限額がアップする【大幅賃上げ特例】の適用要件

事業終了時に①給与支給総額+6%以上かつ、②事業場内最低賃金+45円以上とする計画を策定し申請する必要があります。  
※上記①、②のいずれか一方でも未達の場合、補助額の減額となります。

| 従業員数    | 補助率※                  | 補助上限額   | 大幅な賃上げを行う場合 |
|---------|-----------------------|---------|-------------|
| 5名以下    | 1/2<br>中小企業<br>小規模・再生 | 750万円   | 1,000万円     |
| 6～20名   |                       | 1,500万円 | 2,000万円     |
| 21～50名  |                       | 3,000万円 | 4,000万円     |
| 51～100名 | 2/3                   | 5,000万円 | 6,500万円     |
| 101名以上  |                       | 8,000万円 | 1億円         |

※補助金額1,500万円までは1/2 もしくは2/3(小規模・再生事業者)、1,500万円を超える部分は1/3。

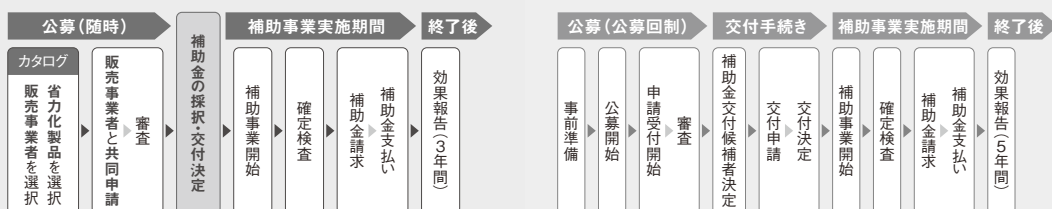
#### 補助上限額がアップする【大幅賃上げ特例】の適用要件

①給与支給総額の年平均成長率+6%以上増加 ②事業場内最低賃金が事業実施都道府県における最低賃金+50円以上の水準  
※最低賃金引き上げ特例事業者は除く。※上記①、②のいずれか一方でも未達の場合、各申請時の従業員規模別の補助上限額との差額について補助金を返還。

#### 補助率が2/3にアップする【最低賃金引き上げ特例】の適用要件

中小機構が指定する一定期間において、3か月以上地域別最低賃金+50円以内で雇用している従業員が全従業員数の30%以上いること  
※小規模・再生事業者は除く。※補助金額1,500万円まで引き上げ対象となります。

#### 申請から事業完了までの流れ



本補助金の詳細や対象製品のリスト(カタログ)、公募要領などはこちらから

中小企業省力化投資補助事業ホームページ <https://shoryokuka.smrj.go.jp/>



お問い合わせは、本補助事業コールセンターまで  
あらかじめ上記ホームページの掲載資料や「よくあるご質問」をご確認のうえ、お問い合わせください。

ナビダイヤル **0570-099-660**

IP電話などからの  
お問い合わせ **03-4335-7595**

カタログ  
注文型

省力化製品に関わる工業会・  
製造事業者・販売事業者のみならず

カタログ登録  
サポートセンター

**03-6746-1530**  
でご相談受付中!

● 受付時間：9:30～17:30／月曜～金曜(土・日・祝日除く) ※通話料がかかります。恐れ入りますが、繋がらない場合は、しばらくたってからおかけ直してください。

全都道府県に、インフォメーション窓口を設けています。詳しくは上記ホームページをご確認ください。



## ～県税の電子納税をしてみよう！～

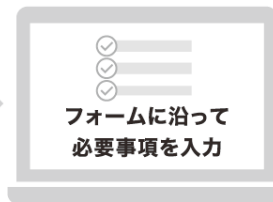


eLTAXの利用率が急上昇中です！

# 県税の電子納税 をしてみよう！



## 1. PCから エルタックス **eLTAX** にアクセスしましょう



※ eLTAXで納付できる県税は、法人県民税、法人事業税、特別法人事業税（地方法人特別税）、県民税（利子割・配当割・株式等譲渡所得割）、県たばこ税、ゴルフ場利用税、軽油引取税です。

## 2. 地方税共通納税システムを利用しましょう

### 金融機関窓口等へのお出かけ不要！

オフィスや自宅のPCで  
申告から納税まで  
ワンストップで手続きできます。



### 全国の都道府県や市町村へ一括納付が可能！

複数の自治体を選択可能です。

### ダイレクト納付が可能！

事前に登録した  
金融機関の口座を指定して  
直接納付できます。  
納付先の自治体の  
指定金融機関でない  
金融機関からでも納付できます。



（国税と地方税のダイレクト納付の利用には、それぞれ利用手続が必要です。）

## ▼ eLTAX全般についてのお問い合わせ

詳しい操作方法についてはこちら  
eLTAXホームページ「動画コーナー」



手数料は  
無料です！



eLTAXヘルプデスク ▶ 0570-081459（左記でつながらない場合 ▶ 03-6745-0720）

徳島県企画総務部税務課 088-621-2075



# 編集 後記

- ◆ 今回の特集では、『四国の元気な組合』として、四国四県の取り組み事例をご紹介します。今後の組合運営等にお役立ていただければ幸いです。ご不明な点などがございましたら、お気軽に当会までお問い合わせください。
- ◆ 今回の「ちょっとえもん〜組合産品紹介〜」では、富士製紙企業組合様をご紹介します。取材には中島茂之理事長にご対応いただきました。徳島新聞に掲載されていた藍染和紙アートパネルについて取材させていただき、中島理事長はお話がすごくお上手で聞いていたらあっという間に1時間ほど経っていました。藍染や阿波和紙の歴史をたどっていくと全国に奉られている神様たちが関わっていて遠く離れた県に徳島の神様が奉られているなど興味深いお話ばかりでした。この度はお話をお聞かせいただきありがとうございますございました。
- ◆ 今回の「ものづくりの達人」では、株式会社小川生薬をご紹介します。取材は小川栄治代表取締役にご協力いただきました。株式会社小川生薬は徳島が本社ですが、京都の中心地である二条城の近くに、自然派のカフェ（1F）、レストラン（2F）、宿泊施設（3F）を備える複合施設「京都小川生薬」を開設されているそうです。ここで提供される料理や飲み物などはすべて生薬が使用されているそうでとても美味しく体に良さそうです。当会の職員も是非行ってみたい！と言っていました。皆さんもいかがでしょうか。この度は取材のご協力ありがとうございます。
- ◆ 今号も発刊にあたりご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。  
最後までお読みいただきありがとうございました。

徳島県中小企業団体中央会  
<https://www.tkc.or.jp>



vol. 04

令和6年度 第4号  
(年間4回発行 通巻第174号)

## 組合活性化情報 中央会とくしま



藍場浜公園の桜並木 水彩画/布川 嘉樹